各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 – 200 (230) (210) C2 Proficiency	各級CEFR算出範囲	各試験CEFR算出範囲	9.0 – 8.5				
C1	199 – 180 (190) C1 Advanced (180)	3299 – 2600 (3299) 2630 1級	1400 – 1350 (1400)	8.0 – 7.0	400 – 375	800	120 – 95	1990 – 1845
B2	179 – 160 (170) B2 First / for Schools (160)	2599 – 2300 (2599) 2304 準1級 (2304)	1349 – 1190 (1280) Advanced	6.5 – 5.5	374 – 309	795 – 600	94 – 72	1840 – 1560
B1	159 – 140 (150) B1 Preliminary / for Schools (140)	2299 – 1950 (2299) 1980 2級 (1980)	1189 – 960 (1080) CBT	5.0 – 4.0	308 – 225	595 – 420	71 – 42	1555 – 1150
A2	139 – 120 A2 Key / for Schools (120)	1949 – 1700 (1949) 1728 準2級 (1728)	959 – 690 (840) Basic		224 – 135	415 – 235		1145 – 625
A1	119 – 100 各試験CEFR算出範囲 (100)	1699 – 1400 (1699) 1456 3級 (1400)	689 – 270 (270) Core					620 – 320

▭ は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。

※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。

※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ 障害等のある受検生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。

■　EST各コースとCEFRの相関

CEFR	ＥＳＴのコース	CAN-DOリスト事例
B1	Advanced Plus	身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。など
A2	A2 High A2 Standard	よく使われる文や表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。
A1	Inter mediate Basic Beginner	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。もし、相手がゆっくり、はっきり話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
Pre-A1		自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問したり、答えたりできる。